

宮崎県 西都土木事務所	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削・樹木伐採

【概要】  
○土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないように、河道掘削や樹木伐採を実施した。

令和7年度実績					
事業費	約0.9億	河道掘削	約0.7万m3	樹木伐採	約20千m2




空白

林野庁 西都児湯森林管理署	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	森林の整備・保全・治山施設の整備
	【小項目】対策メニュー	森林整備事業

【概要】

○森林の有する土砂流出防止や水源かん養機能等の適切な発揮に向け、引き続き植付等の森林整備を実施

令和7年度実績			
植付	下刈	除伐	間伐
13ha	70ha	-	43ha



植付



下刈

林野庁 西都児湯森林管理署	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	森林の整備・保全・治山施設の整備
	【小項目】対策メニュー	治山事業

【概要】

○森林の多面的機能及び豪雨時の土砂流出防止に向けて、山腹工事を計画的に実施



着工前



完成

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 宮崎水源林整備事務所	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	森林の整備・保全・治山施設の整備
	【小項目】対策メニュー	水源林造成事業

【概要】  
 ○水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。  
 ○水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

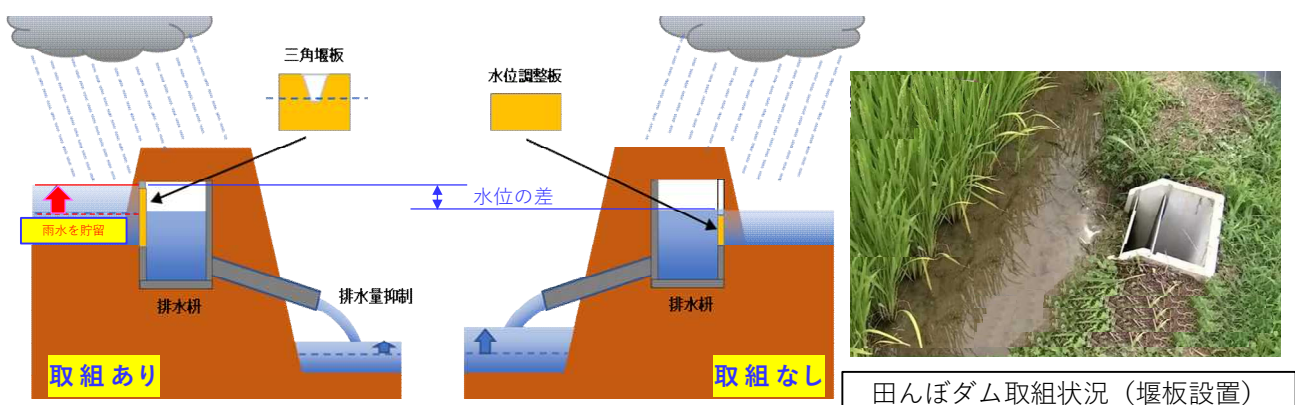


令和7年度実績	
植栽	7 ha
育成複層林	26 ha
下刈	79 ha
除伐等	48 ha
保育間伐	121 ha
路網整備	2,937 m

宮崎県 児湯農林振興局	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	多面的機能支払制度等の活用

【概要】  
 ○「田んぼダム」の取組を行うことで、雨水貯留機能の強化を図り、周辺の農地・集落や下流域の浸水被害リスクの低減を図る。(多面的機能支払活動組織: 柳瀬ドリーム(新富町))

「田んぼダム」とは、実施する地域やその下流域の浸水被害リスクを低減するための取組。  
 水田の落水口に流出量を抑制するための**堰板**や**小さな穴の開いた調整板**などの器具を取り付けることで、**水田に降った雨水を時間をかけてゆっくりと排水し**、水路や河川の水位の上昇を抑えることで、**溢れる水の量や範囲を抑制**。



田んぼダム取組状況 (堰板設置)

新富町	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	排水施設の整備及び排水機場の更新等

**【概要】**  
 ○近年、洪水量が著しく増加し降雨時に下流農耕地域及び家屋等が冠水被害を生じている。災害時に迅速に対応可能な移動式排水ポンプを整備し地域防災力・即応力の強化を図る。

令和7年度実施(実績)			
事業費	約1億4百万円	移動式排水ポンプ	2台
令和8年度実施(令和7年度繰越)			
事業費	約2千万円	積載車両	2台



新富町	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	排水施設の整備及び排水機場の更新等

**【概要】**  
 ○近年、洪水量が著しく増加し下流農耕地域が冠水被害を生じているため農業用排水路を整備し地域防災力・即応力の強化を図る。

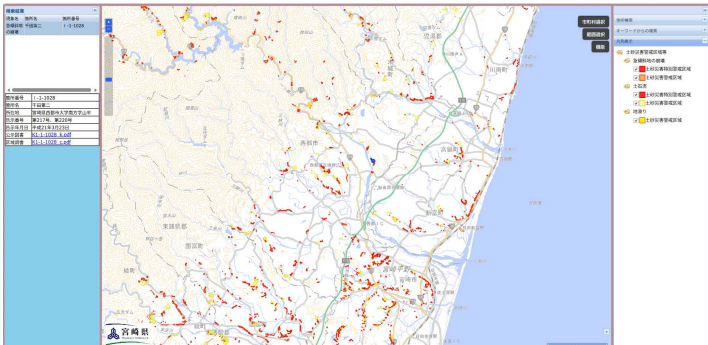
令和7年度実施(予定)			
事業費	約5百万円	排水路浚渫	1式



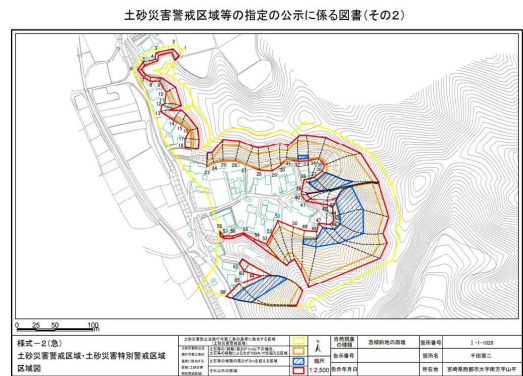
宮崎県 西都土木事務所 高鍋土木事務所	【大項目】区分	2. 被害対象を減少させるための対策
	【中項目】対策内容	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実
	【小項目】対策メニュー	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

【概要】

○土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)に基づき、基礎調査を実施しており、土地の改変等が確認された箇所については、順次指定箇所の見直し等を行っていく。  
 ○指定箇所については、県HPで公表するとともに、市町村に情報提供を行い、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表  
 HP : [www.sabomap/miyazaki](http://www.sabomap/miyazaki)



公表されている公示図書の一部

新富町	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	防災情報、避難体制の検討・連携強化
	【小項目】対策メニュー	個別避難計画の有効性検証訓練

【概要】

○新富町では避難行動要支援者名簿に基づく個別避難計画の作成を推進している。  
 ○令和7年度は地区住民と消防団が協力し、個別避難計画の有効性を検証するための訓練を実施した。  
 ○訓練は、地区内の支援対象者の所在や状況の確認、支援者の動線、消防団との連携体制を確認するとともに、自主防災組織を主体とした支援対象者の確認や声かけを行い、避難場所へ誘導する等実践的な訓練として行った。特に、地域住民では避難支援が困難な要支援者に対しては消防団が要支援者宅へ向かい避難支援を行うとともに自宅周辺の安全確認や搬送経路等を確認した。  
 ○結果、個別避難計画の有効性が確認でき、計画作成の本来目的である地域全体で“支え合う避難”の基盤強化につながった。



林野庁 西都児湯森林管理署	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	森林の整備・保全・治山施設の整備
	【小項目】対策メニュー	森林整備事業

【概要】

○森林の有する土砂流出防止や水源かん養機能等の適切な発揮に向け、引き続き植付等の森林整備を実施

令和7年度実績			
植 付	下 刈	除 伐	間 伐
20ha	92ha	-	311ha



下刈



保育間伐

林野庁 西都児湯森林管理署	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	森林の整備・保全・治山施設の整備
	【小項目】対策メニュー	治山事業

【概要】

○森林の多面的機能及び豪雨時の土砂流出防止に向けて、治山ダム設置を計画的に実施



着工前



完成

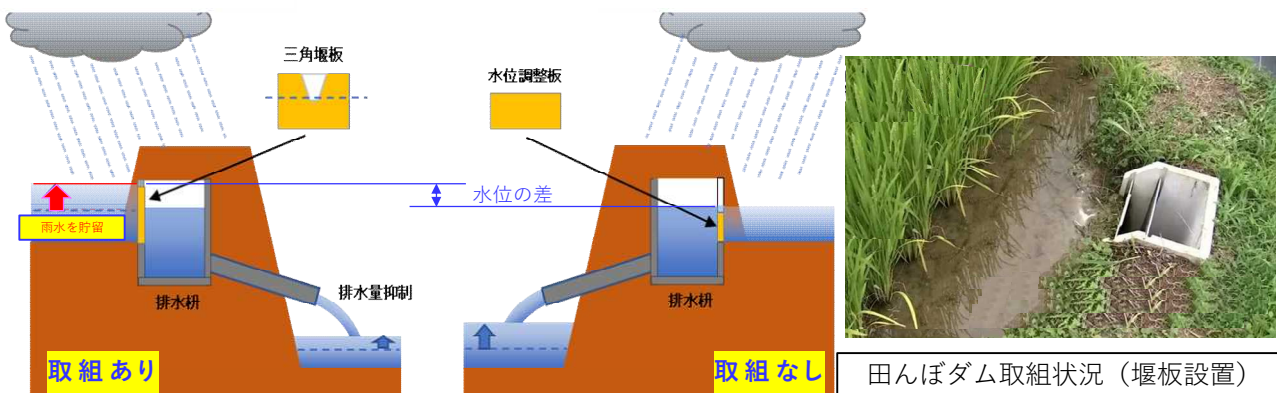
宮崎県 児湯農林振興局	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	多面的機能支払制度等の活用

【概要】

○「田んぼダム」の取組を行うことで、雨水貯留機能の強化を図り、周辺の農地・集落や下流域の浸水被害リスクの低減を図る。(多面的機能支払活動組織:柳瀬ドリーム(新富町))

「田んぼダム」とは、実施する地域やその下流域の浸水被害リスクを低減するための取組。

水田の落水口に流出量を抑制するための堰板や小さな穴の開いた調整板などの器具を取り付けることで、**水田に降った雨水を時間をかけてゆっくりと排水し、水路や河川の水位の上昇を抑えることで、溢れる水の量や範囲を抑制。**

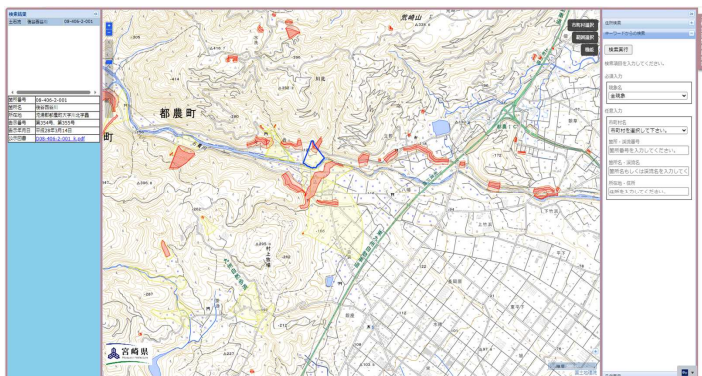


宮崎県 高鍋土木事務所	【大項目】区分	2. 被害対象を減少させるための対策
	【中項目】対策内容	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実
	【小項目】対策メニュー	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

【概要】

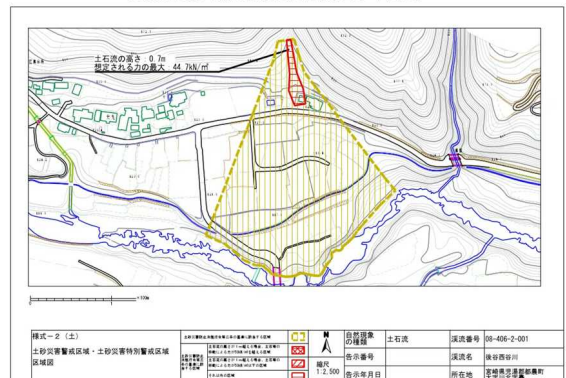
○土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)に基づき、基礎調査を実施しており、土地の改変等が確認された箇所については、順次指定箇所の見直し等を行っていく。

○指定箇所については、県HPで公表するとともに、市町村に情報提供を行い、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表  
HP: www.sabomap/miyazaki

土砂災害警戒区域等の指定の公示に係る図書 (その2)



公表されている公示図書の一部

宮崎県 川南町	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	防災情報、避難体制の検討・連携強化
	【小項目】対策メニュー	川南町総合防災訓練の実施

【概要】

- 地域の防災体制及び町民の防災意識の向上を図るため、全町民を対象に防災訓練を実施
- 役場職員、各自治公民館、自主防災組織が各々訓練内容を計画し、一斉に実施した。
- 防災行政無線(屋外・戸別)から災害発生をアナウンス。沿岸地域では自主防災組織を中心に住民を一時避難場所まで誘導するなど現実に即した訓練となった。



	【大項目】区分	
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	

空白